

ずいじ きゅう がっかしけんもんだい か こもん  
随時2級 学科試験問題 (過去問)

1. 試験時間 60分

2. 問題数 50題 A群 (真偽法25題) 及びB群 (多肢択一法25題)

3. 注意事項

- (1) 携帯電話、腕時計型端末の使用は禁止します。(電源は切って、バック等にしまって下さい。)
- (2) 机の上に受検票及び筆記用具以外のものを置いてはいけません。
- (3) 電子式卓上計算機、その他これと同等の機能を有するものは、使用してはいけません。
- (4) 試験官の指示があるまで、この表紙を開けてはいけません。
- (5) 試験官の指示に従って試験問題の数を確認してください。もし、異常があった場合には、黙って手を挙げて下さい。
- (6) 解答用紙はマークシートです。必ず鉛筆又はシャープペンシルを使用して下さい。
- (7) 解答用紙には、等級、受検番号、氏名を必ず記入し、受検番号の欄は、受検区分と受検番号を必ずマークして下さい。
- (8) 試験官の指示に従って、試験を開始して下さい。
- (9) 問題は、A群 (真偽法25題) 及びB群 (多肢択一法25題) の50題です。
  - ① 真偽法は、問題の内容が正しいか誤っているかを判断し、解答用紙に正か誤のどちらか一つを記入して下さい。
  - ② 多肢択一法は、問題に対応する選択肢の中で、正解と思う選択肢を一つ選び、解答用紙に記入して下さい。
  - ③ 解答用紙の注意事項を必ず確認し、A群、B群の解答欄を間違わないように記入して下さい。
- (10) 試験中、質問があるときは、黙って手を挙げて下さい。ただし、漢字の読み方を含めて、試験問題の内容についてはお答えできません。
- (11) 試験開始後30分間は退出できません。30分経過後に解答ができあがった場合は、黙って手を挙げて試験官の指示に従って下さい。退室後は試験が終了するまで再入室はできません。
- (12) 試験中にトイレに行きたい場合は、黙って手を挙げて試験官の指示に従って下さい。
- (13) 試験終了の合図があったら、筆記用具を置き、試験官の指示に従って下さい。
- (14) 試験終了後、解答用紙は提出して下さい。問題用紙は持ち帰って下さい。

## ■A群 (真偽法)

1. 建築物において除去の対象となるのは、汚れとごみに区別される。
2. 室内の作業面における明るさには、普通作業の明るさと精密作業の明るさだけが規則として定められている。
3. 洋風建築の床の板張り仕上げを、フローリングまたはフローリングボードという。
4. モップリンガーは、モップを絞る道具であり、その形状にT字型などがある。
5. 界面活性剤は、物質の表面張力を低下させる働きをする。
6. 作業計画は、清掃作業の細かなところまで点検し、ムダを排除して、効率的にするものである。
7. 都市における建築物や地下街では、クマネズミが多い。
8. 建築物の所有者はすべてのビルで、建築物環境衛生管理技術者を選任しなければならない。
9. 水性フローポリッシュ・ポリマータイプは、ビニル系床材に適している。
10. 自動床洗浄機は小回りがきくので、隅や曲がり角まで洗浄できる。
11. 建築物の入口に適切なマットを置くと、靴によって持ち込まれるほこりの侵入を防止することができる。
12. 自在ほうきの「おさえ掃き」は、ほうきの先を浮かすようにしてごみを集める掃き方である。
13. 酸性洗剤と塩素系漂白剤は、混ぜてはならない。
14. 繊維系床のオフレーション方式とは、汚れたタイルカーペットをきれいなものに入れ替えるとともに、汚れたタイルカーペットを別の場所で洗浄することをいう。
15. 床面と壁面の立ち上がり部分を保護する目的で、取り付けた仕上げ材の部分を幅木という。
16. 床面の汚れ具合に応じて区域を分け、清掃方法を変更することをゾーニングという。
17. ごみの収集回数は、週1~2回を普通とする。

18. 労働災害の原因は、物的原因と人的原因がある。
19. 床維持剤の塗布は、予防清掃の一つである。
20. ヘパフィルター付き高性能型真空掃除機は、衛生上の利点が多く、病院などで使用されている。
21. 労働災害は、人身の障害を伴うものである。
22. ノロウイルスに感染した嘔吐物の処理には、アルコール系の消毒剤を使用する。
23. リノリウムは、アルカリ性の洗剤を使用すると変色する場合がある。
24. 延べ面積が3,000 m<sup>2</sup>以上の建築物は、すべて「特定建築物」である。
25. 一般に標準時間は、作業を行っている時間、と移動・準備・休息などの時間で構成される。

■ B群 (多肢択一法)

1. 建築物清掃の4つの目的のうち、最も適切でないものはどれか。

- イ 衛生的環境の確保
- ロ 美観の向上
- ハ マナーの向上
- ニ 安全の確保

2. 汚れの人為的原因として、最も不適切なものはどれか。

- イ 衛生害虫による汚れの発生
- ロ 歩行による靴裏の泥やほこり
- ハ 手アカ・抜け毛による汚れの発生
- ニ 物品の移動などに伴う細片

3. 湿式モップとして、使用しないものはどれか。

- イ T字モップ
- ロ ワンタッチモップ
- ハ フラット型モップ
- ニ ダストクロス型モップ

4. カーペット用洗剤の特性として、最も適切でないものはどれか。

- イ 中性から弱アルカリ性
- ロ 強い臭い
- ハ べとつきのない粉末化
- ニ 早い乾燥性

5. 外装仕上げ材のうち、金属系でないものはどれか。

- イ アルミニウム
- ロ ステンレススチール
- ハ 鋼板
- ニ セラミックタイル

6. 階段の構造名称で、適切なものはどれか。

- イ ノンスリップ
- ロ パネル
- ハ デッキボード
- ニ ランディングプレート

7. 床維持剤の分類で、最も不適切なものはどれか。

- イ フロアードライ
- ロ フロアーオイル
- ハ フロアーシーラー
- ニ フロアーポリッシュ

8. スイッチを入れてもポリッシャーが動かない理由として、最も適切なものはどれか。
- イ ギアの破損
  - ロ オイルシールの不良
  - ハ プラグの不良
  - ニ キャスターの不良
9. 床の日常清掃として、最も不適切な作業はどれか。
- イ 除塵作業
  - ロ 拭き取り作業
  - ハ 表面洗浄作業
  - ニ バフ掛け作業
10. ビルクリーニングの5原則ではない項目はどれか。
- イ 安全衛生の知識
  - ロ 保護膜の知識
  - ハ 作業方法の知識
  - ニ 建材の知識
11. 繊維系床材の定期的なクリーニング技法として、最も不適切なものはどれか。
- イ ポリッシャー方式
  - ロ ドライフォーム方式
  - ハ スチーム方式
  - ニ ダストコントロール方式
12. 床維持剤を塗布する目的として、最も不適切なものはどれか。
- イ 汚れの付着を防ぐ
  - ロ 歩行性を高める
  - ハ 床材を保護する
  - ニ 美観を高める
13. 建築物内の日常清掃として、最も不適切なものはどれか。
- イ カーペット床の洗浄作業
  - ロ 出入口マットの除じん
  - ハ 紙くず処理
  - ニ 家具、調度品のほこり取り
14. 洗剤の注意点として、最も不適切なものはどれか。
- イ 洗剤は日常的に、素手で取り扱う
  - ロ 計量カップを用いて適正な濃度として使用する
  - ハ 希釈には40℃程度の温水を使用する
  - ニ 洗浄後のすすぎとして、水拭きでは清水を使用する

15. ごみの<sup>しゅうしゅう</sup>収集について、<sup>もっと</sup>最も<sup>ふてきせつ</sup>適切なものはどれか。
- イ <sup>しゅうしゅうさぎょう</sup>収集作業は<sup>りようしや</sup>利用者が<sup>おおとき</sup>多い時に<sup>おこな</sup>行う
  - ロ <sup>しゅうしゅうかいすう</sup>収集回数は<sup>にち</sup>1日<sup>かいおこな</sup>5～10回<sup>おこな</sup>行う
  - ハ <sup>しゅうしゅうようき</sup>収集容器や<sup>うんぱんようぐ</sup>運搬用具は<sup>せいけつ</sup>清潔にして<sup>つか</sup>使う
  - ニ <sup>すいがらしゅうしゅう</sup>吸殻<sup>かみ</sup>収集は<sup>ま</sup>紙くずと<sup>ま</sup>混ぜてもよい
16. 地球環境への負荷を減らすための取り組み（3R）として、最も不適切なものはどれか。
- イ リサイクル
  - ロ リユース
  - ハ リターン
  - ニ リデュース
17. 床維持剤の<sup>ちようしよ</sup>長所として、<sup>もっと</sup>最も<sup>ふてきせつ</sup>不適切なものはどれか。
- イ <sup>ひまく</sup>皮膜が<sup>きやう</sup>強<sup>じん</sup>じんである
  - ロ <sup>たいきゆうせい</sup>耐久性がよく、<sup>ちようじかん</sup>長時間<sup>なほ</sup>塗り直す<sup>ひつよう</sup>必要がない
  - ハ <sup>こうたく</sup>光沢を出すためには、<sup>みが</sup>磨く<sup>ひつよう</sup>必要がある
  - ニ <sup>ほこり</sup>ほこり、<sup>よご</sup>汚れの<sup>ふ</sup>拭き取りが<sup>ようい</sup>容易である
18. 脚立の<sup>しよう</sup>使用について、<sup>もっと</sup>最も<sup>ふてきせつ</sup>適切なものはどれか。
- イ <sup>ひら</sup>開き止め<sup>かなぐ</sup>金具を<sup>かくじつ</sup>確実に<sup>かける</sup>かける
  - ロ <sup>てんぱん</sup>天板に<sup>りようあし</sup>両足で<sup>た</sup>立つ
  - ハ <sup>あし</sup>脚と<sup>すいへいめん</sup>水平面の<sup>かくど</sup>角度は<sup>ど</sup>90度とする
  - ニ <sup>きやたつ</sup>脚立を<sup>かたむ</sup>傾けて<sup>た</sup>立てる
19. 転倒災害防止に関する<sup>きじゆつ</sup>記述で、<sup>もっと</sup>最も<sup>ふてきせつ</sup>不適切なものはどれか。
- イ <sup>ゆかめん</sup>床面と<sup>あし</sup>足の<sup>うら</sup>裏の<sup>まさつ</sup>摩擦を<sup>すく</sup>少なくする
  - ロ <sup>すべりにくい</sup>すべりにくい<sup>さぎやうくつ</sup>作業靴を<sup>ちやくよう</sup>着用する
  - ハ <sup>ほこうどうせん</sup>歩行動線を<sup>かくほ</sup>確保する
  - ニ <sup>ほうしきさぎやうぎほう</sup>ドライ方式<sup>じっし</sup>作業技法を実施する
20. アップライト型<sup>がたしんくうそうじき</sup>真空掃除機<sup>ぶひんめいしよう</sup>の<sup>もつと</sup>部品<sup>ふてきせつ</sup>名称で最も不適切なものはどれか。
- イ ブロワーモーター
  - ロ フロート
  - ハ ブラシモーター
  - ニ パワーブラシ
21. 清掃<sup>くいき</sup>4区域で<sup>ふてきせつ</sup>適切でないものはどれか。
- イ <sup>きやうようくいき</sup>共用区域
  - ロ <sup>せんようくいき</sup>専用区域
  - ハ <sup>おくじよう</sup>屋上・<sup>ち</sup>地下<sup>かくいき</sup>区域
  - ニ <sup>かんりようくいき</sup>管理用区域

22. 次のカーペットのうち、化学繊維カーペットはどれか。

- イ ウール
- ロ レーヨン
- ハ 絹
- ニ 麻

23. 平成16年度における東京23区の各種ごみの排出比の記述について、最も適切なものどれか。

- イ オフィスビルからは、生ごみが約20%発生する
- ロ 店舗ビルからは、生ごみが約20%発生する
- ハ ホテル・結婚式場からは生ごみが約20%発生する
- ニ 医療機関からは生ごみが約20%発生する

24. ビルの汚れ物質で、植物性でないものはどれか。

- イ 紙類の摩耗粉
- ロ ビニールレザーの摩耗粉
- ハ 木材粉
- ニ タバコの粉

25. 次のブラシパッドの使用方法について、最も不適切なものはどれか。

- イ ナイロンブラシ… 一般的な汚れに使用
- ロ シダブラシ… コンクリートや鉄板など重度の汚れに使用
- ハ 黒パッド… 剥離洗浄に使用
- ニ 白パッド… バフ作業に使用

2020年度 ビルクリーニング技能検定

ずいじ きゅう がっかしけんもんだい  
 随時2級 学科試験問題

< せい かい 正 解 >

A群 真偽法	
設問	解答
1	正
2	誤
3	正
4	誤
5	正
6	正
7	正
8	誤
9	正
10	誤
11	正
12	誤
13	正
14	正
15	正
16	正
17	誤
18	正
19	正
20	正
21	正
22	誤
23	正
24	誤
25	正

B群 多肢択一法	
設問	解答
1	ハ
2	イ
3	ニ
4	ロ
5	ニ
6	イ
7	イ
8	ハ
9	ハ
10	イ
11	ニ
12	ロ
13	イ
14	イ
15	ハ
16	ハ
17	ハ
18	イ
19	イ
20	ロ
21	ハ
22	ロ
23	イ
24	ロ
25	ロ